



# YoshiokaSeikonews

発行：株式会社 吉岡精工 〒230-0045 神奈川県横浜市鶴見区末広町1-1-49

TEL 045-500-1363(代)

FAX 045-500-1383

[www.yoshioka.co.jp](http://www.yoshioka.co.jp)

[www.porous-chuck.com](http://www.porous-chuck.com)

(ポーラスチャック専用サイト)

～お客様の“こんなものが欲しい”を形にします～

## 明けましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になり、ありがとうございました。

本年もなお一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

さて、2010年といえば世界的にも大きなイベントである第21回冬季オリンピック(カナダ・バンクーバー 2月12日～2月28日)や、第19回FIFAワールドカップ(南アフリカ 6月11日～7月11日)が開催されますが、心待ちにされている方も多いのではないのでしょうか。

そこで吉岡精工にとっての大きなイベントといえば、展示会です。1月から2月に掛けて下記展示会への出展に向けて、準備を進めております。

昨年のセミコンでは規模も縮小され、例年に比べると来場者数もかなり落ち込んでおりましたが、今年も引き続き厳しい事は予想されます。

しかし、展示会では遠方であるなどの理由でなかなかお会いできないお客様や、新しいお客様・案件と出会うことの出来る場でもありますので、もし会場にお越しの際は弊社ブースにもお立ち寄り頂き、新製品をご覧いただければ幸いです。

皆様のご来場を、御待ちしております。

## 展示会 出展情報

### 「第2回 神奈川R&D合同展示会」

1月15日(金)11:00～16:30 (神奈川県産業技術センター)

### 「第11回 半導体パッケージング技術展」

1月20日(水)～23日(金) (東京ビッグサイト 小間No. 東14-22)

### 「第31回 工業技術見本市 テクニカルショウ ヨコハマ2010」

2月3日(水)～5日(金)

(パシフィック横浜 展示ホールC・D ヨコハマものづくりポータルエリア)

## 注目の最新記事

### トヨタ自動車、家庭用電源で充電できる「プリウスプラグインハイブリッド」を発表

トヨタ自動車は2009年12月14日、家庭用電源で充電できる「プリウスプラグインハイブリッド」を発表。

2009年5月に発売した3代目「プリウス」をベースに、Ni水素2次電池をエネルギー密度の高いLiイオン2次電池に置き換えたほか、電池の容量と電池の使用領域であるSOC(充電状態)を拡大したことで、航続距離を約10倍の23.4km(JC08モード)に伸ばしたことが特徴。(12/14)

### 日本コカ・コーラ、植物由来のPETボトル「プラントボトル」を採用へ

日本コカ・コーラ(本社東京)は、2010年から植物由来の素材の一部に使用したPETボトル「プラントボトル」を採用する。「サステイナブル・パッケージ(持続可能な容器)」の実現に向けた新たな取り組みという位置付けで、同社によれば同ボトルは従来のPETボトルと形状、質量、強度の点で全く違いがなく、既存のPETボトルリサイクル工場で100%リサイクル可能なものという。(12/17)

### 京セラ、スペインの発電施設に19万枚の太陽電池モジュール供給

京セラは、スペインAvanzalia社が手掛ける太陽電池の大規模発電施設2カ所に、約19万枚の太陽電池モジュールを供給したと発表。京セラは、2007年にもAvanzalia社の発電所に約7万枚の太陽電池モジュールを供給していた。(12/18)

### シャープが自社の液晶バックライト用LEDを照明向けに外販

シャープが照明向け白色LED2種類9製品を発表すると発表した。このうち1種類は、同社の液晶テレビのバックライト用の製品を照明向けに外販する。シャープが今後、生産量拡大や低コスト化を進めて力を付けていけば、韓国Samsungグループや韓国LGグループと並んで、既存のLED大手を脅かす新興勢力の一角を占める可能性が出てきた。(12/21)

### LED電球の初期コストはすでに許容範囲に

東京電力「TEPCOくらしのラボ」は、省エネ型電球(電球形蛍光灯やLED電球)の認識状況や取り替え状況に関する調査・分析結果を発表した。調査の結果、白熱電球を電球形蛍光灯やLED電球に置き換えた場合の初期コストの高さは、すでに消費者の許容範囲内であることが分かった。(12/22)

### 2009年の登録車新車販売台数、38年ぶりに300万台を割り込む

日本自動車販売協会連合会は、2009年12月および年間の「登録車の新車販売台数」(特殊車、トレーラを除くナンバーベース)を発表した。12月の合計は25万474台で前年同月の18万3549台に対して36.5%増となり、5カ月連続でプラスとなった。年間累計では292万1085台で前年比9.1%減となり、6年連続でマイナスとなった。登録車(軽自動車を除く)の販売台数が300万台を割り込んだのは1971年以来38年ぶりとなる。(1/5)

### ハイブリッド車を凌駕も、高燃費ガソリンエンジン

ガソリンエンジンで1リットル当たり32km走る小型車を開発したマツダ。軽量化やエンジンの改良を重ね、ハイブリッド車に迫る高燃費を達成した。マツダが開発したコンセプトカー「清(きよら)」のエンジンは排気量1300ccで、マツダの小型車「デミオ」と同サイズ。デミオの燃費は10・15モードで23kmなので、清はデミオよりも約40%も燃費を改善したことになる。(1/7)

この資料は精密加工に関するサービス内容、技術情報、市場情報、注目すべき業界の新聞記事等に直接関心をお持ちのお客様にお届けするものです。個人情報に関しましては、弊社にて責任を持って管理し、YoshiokaSeikoニュースの配信、弊社からの重要なお知らせの他、弊社事業活動に関わること以外での使用は致しません。